

小学校第4学年 道徳科 学習構想案 (例)

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時
 場 所 4年教室
 指導者 〇〇 〇〇

1 学習構想

主題名	働くことの大切さ (内容項目C(13) 勤労, 公共の精神)	
ねらいと教材	(1)ねらい 布田保之助が1年8か月の間働き続けた思いを話し合うことを通して, 自分の役割を果たし, 力を合わせて仕事をするための大切さを理解し, 進んでみんなのために働くとする心育を育てる。 (2)教材名 布田保之助の心 出典「道徳教育用郷土資料 くまもとの心 小学校3・4年(熊本県教育委員会)」	
評価の視点	評価の視点1	評価の視点2
	布田保之助が1年8か月働き続けた理由を多面的・多角的に考えている。	登場人物の生き方を自分自身と重ね合わせながら, 働くことの大切さについて考えている。
目指す児童の姿		
自分の役割を果たし, 力を合わせて仕事をするための大切さを理解し, 進んでみんなのために働くとする意欲を高めている児童。		
主題に迫る学習課題(本時)	本主題で働かせる見方・考え方	
どんな思いがあったから, 保之助は1年8か月も働き続けることができたのだろう。	布田保之助が1年8か月働き続けた理由を多面的・多角的に考えることを通して, 働くことの大切さについて理解し, 今後の自己の生き方について考えを深めていくこと。	
内容項目相互の関連的・発展的な指導, 各教科等や体験活動等との関連的指導		
特別活動・日常活動	道徳科	教科・総合的な学習の時間
[特別活動] 係活動を工夫しよう 運動会を成功させよう [日常活動] 掃除 給食当番 日直 など	「ぼくの草取り体験」 出典「小学道徳 生きる力4 (日本文教出版)」 C(13) 勤労, 公共の精神 主題名 みんなのために働く 「布田保之助の心」(本時) C(13) 勤労, 公共の精神 主題名 働くことの大切さ 布田保之助が1年8か月の間働き続けた思いを話し合うことを通して, 自分の役割を果たし, 力を合わせて仕事をするための大切さを理解し, 進んでみんなのために働くとする心育を育てる。	[社会科] わたしたちの文化財や年中行事 ○熊本県で受け継がれてきたものを調べ, 地域の人々の思いや願いを知る。 きょう土を開く ○先人の働きで, 当時の生活の向上に貢献したことを見学したり調べたりする。 ○通潤橋 見学旅行 [総合的な学習の時間] 町の宝を見つけよう 2分の1成人式

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所 (ねらいや指導内容についての教師の捉え方)
本主題は, 小学校第3学年及び第4学年内容項目C(13)「働くことの大切さを知り, 進んでみんなのために働くこと」を基にしたものである。 自分の役割を果たし, 力を合わせて仕事をするための大切さを理解できるようにするとともに, 進んで働くとする態度を育てる必要がある。指導に当たっては, 特に身の回りの生活の中で, 集団の一員としてできることについて考え, 自分ができる仕事を見付けたり, 集団生活の向上につながる活動に参加したりして, みんなのために働くとする意欲や態度を育むことが重要になる。

本主題における系統		
<p>小学校第1学年及び第2学年 内容項目 C(13)(勤労, 公共の精神) 働くことのよさを知り, みんなのために働くこと。</p> <p>第1学年 教材名「120てんのそうじ」 出典「しょうがくどうとく いきるちから1 (日本文教出版)」</p> <p>第2学年 教材名「本がかりさんががんばっているね」 教材名「森のゆうびんやさん」 出典「小学どうとく 生きる力2 (日本文教出版)」</p>	<p>小学校第3学年及び第4学年 内容項目 C(13)(勤労, 公共の精神) 働くことの大切さを知り, 進んでみんなのために働くこと。</p> <p>第3学年 教材名「木の中にバットが見える」 出典「小学どうとく 生きる力3 (日本文教出版)」</p> <p>第4学年 教材名「ぼくの草とり体験」 教材名「布田保之助の心」</p>	<p>小学校第5学年及び第6学年 内容項目 C(13)(勤労, 公共の精神) 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに, その意義を理解し, 公共のために役に立つことをすること。</p> <p>第5学年 教材名「カライモ博士」 出典「道徳教育用郷土資料 熊本の心 小学校5・6年 (熊本県教育委員会)」 教材名「父の仕事」 出典「小学道徳 生きる力5 (日本文教出版)」</p> <p>第6学年 教材名「母の仕事」 出典「小学道徳 生きる力6 (日本文教出版)」</p>

児童の実態 (児童の学習状況や実態と教師の願い)

■主題に関する意識の状況		主題に関わる児童の実態(アンケート 人調査)			
質問事項		とても◎	まあまあ○	あまり△	ない×
① 「働くこと」は大切だと思いますか。		人	人	人	人
② 学校や家で自分のやるべき仕事は何ですか。	(回答)				
③ ②で答えた仕事に進んで取り組んでいますか。		人	人	人	人
④ 「働く」について, どんなイメージをもっていますか。	(回答)				

■考察

項目のみ記載しています。

教材の価値 (使用する教材の特質や具体的な活用方法)

教材「布田保之助の心」は, 矢部郷の惣庄屋であった布田保之助が, 人々の生活の向上を図るため困難な事業(通潤橋建設, 用水路の整備, 新田の開発)に立ち向かい, 村人や種山石工たちの協力のもと, かつてない大事業を成し遂げた姿について書かれている。布田保之助が人々のために働く生き方を多面的・多角的に考えることを通して, 働くことの意義や大切さについて考えることができる教材である。

本教材を活用した授業においては, 1年8か月の間働き続けた保之助の思いを中心発問として考えることを通して, 働くことに対する児童の多様な価値観を引き出したい。さらに, 自分の役割を果たし, 力を合わせて仕事をするものの大切さについて考え, 進んでみんなのために働こうとする心情を育てていきたい。

3 指導に当たっての留意点

- 【導入・終末の工夫】(学習過程の工夫)
- 授業の導入場面では, 児童が現在している仕事を思い出させることで, 一人一人が担っている仕事を意識できるようにする。また, ウェビングを用いることで, 「働くこと」に対する児童のイメージを整理する。
- 授業の終末では, 係活動や学校行事等で働いている児童の姿を紹介し, 今までの自分を見つめることができるようにする。また, やなせたかしさんの詩「ひとつぶの水滴」の朗読や, 「通潤魂」の意味を紹介することで, 人の役に立つことの大切さについて捉え直すことができるようにする。
- 【発問の工夫】(指導方法の工夫)
- 交流場面では, ワークシートを読み合い, 同じ意見や気付かなかった意見にはシールを貼り, 活発な交流につなげる。[道徳科授業力向上手引書P9参照]
- 中心発問後に「働くこと」に対するイメージを再び尋ねることで, 学習を通して「働くこと」について深まった児童の思いを全体で共有できるようにする。
- 【板書の工夫】(構造的な板書)
- 児童の意見を内容ごとに整理して板書することで, 働くことを支える道徳的価値が多様にあることに気付くことができるようにする。

4 本時の学習

(1) ねらい

布田保之助が1年8ヶ月の間働き続けた思いを話し合うことを通して、自分の役割を果たし、力を合わせて仕事をする事の大切さを理解し、進んでみんなのために働こうとする心情を育てる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	5分	<p>1 仕事について考える。</p> <p>①みんなはどんな仕事をしていますか。 ◇係, 当番, 日直</p> <p>②「働く」ってどんなことでしょう。 ◇大切 ◇きつい, 面倒 ◇お金をかせぐ</p> <p>③アンケートをもとに考えましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【学習課題】 「働くこと」について考えよう。</p> </div>	<p>○児童が現在している仕事を思い出させ、それぞれが仕事を担っていることを意識できるようにする。</p> <p>○ウェビングを使うことで、児童がもっている「働くこと」に対するイメージを整理する。</p> <p>○アンケート結果をもとに「働くことは大切だと思いますか。」「自分のやるべき仕事を進んでしていますか。」と問いかけ、頭では分かっているにもかかわらず実際にはできていない自分に気付かせる。[道徳科授業力向上手引書 P 6 参照]</p>
展開	30分	<p>2 教材を読み、道徳的価値について考える。</p> <p>①お話を聞いて心に残ったことや、みんなで考えたいことはありませんか。 ◇完成したときに涙を流したところが心に残った。それだけ嬉しかったんだなと思った。 ◇保之助さんが、なぜくじけなかったのかみんなで考えたい。</p> <p>②なかなか思うようにいかず、失敗が続いた保之助はどんな気持ちになったのだろう。 ◇上手いはずが苦しい。もうやめたいな。 ◇村人のためにしているのに悲しい。 ◇今まで頑張ってきたからあきらめたくない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【中心発問】 ③どんな思いがあったから保之助は1年8ヶ月も働き続けることができたのだろう。</p> </div> <p>◇白糸台地に住んでいる人たちのために頑張るぞ。白糸をよくしたい。《郷土愛》《公共の精神》 ◇自分が決めたことだからあきらめたくない。《努力と強い意志》 ◇村人や石工たちが協力して一緒に頑張ってくれている。《信頼》《感謝》 ◇惣庄屋として白糸のくらしを楽しみたい。《責任》 ◇水や食べ物がないと命が危ない。《生命の尊さ》 ※《 》は関連する道徳的価値</p> <p>④「働く」ってどんなことでしょう。 ◇人を助ける。 ◇人の役に立つ。 ◇協力し合ってやり遂げる。 ◇命を守る。 ◇嬉しい, やり甲斐がある。 ◇楽しい。 ◇責任を果たす。 ◇あきらめないこと。</p>	<p>○朗読前に布田保之助について紹介する。(見学旅行や社会科の学びを生かす)</p> <p>○「大変な仕事を成し遂げた保之助の気持ちを考えながら聞こう。」等、聞く視点を示す。</p> <p>○問い返しにより、上手いかなかった保之助の気持ちと自分の体験とを重ねて考えられるようにする。 問い返し例：「もし自分だったら、失敗が続いたときどんな気持ちになりますか。」「もうやめたいなという気持ちのままだったら完成したかな。」等。</p> <p>○働き続ける保之助の気持ちをワークシートに書くことで自分の考えを整理できるようにする。</p> <p>○交流場面では、ワークシートを読み合い、同じ意見や気付かなかった意見にシールを貼り、活発な交流につなげる。[道徳科授業力向上手引書 P 9 参照]</p> <p>○児童の意見を整理して板書することで、働くことを支える道徳的価値が多様にあることに気付くことができるようにする。</p> <p>○通潤橋の完成には、保之助の働きだけでなく、多くの人々の働きや思いがあったことに気付くことができるようにする。</p> <p>○同じことを2回聞くことで、児童の考えの変化を視覚化できるようにする。2回目の児童の発言は、色を変えて板書する。</p>

終末	10分	<p>3 自分自身を振り返る。</p> <p>①今までの自分を見つめましょう。 ◇今までは委員会のトイレ掃除を嫌々していたけど、これからは保之助さんみたいに、みんなのために頑張りたい。 ◇今日の学習で、やろうときめた仕事は最後まで頑張ろうと思った。 ◇家族がやっている仕事も、大変で大事なことだと分かった。</p>	<p>○係活動や学校行事等で働いている児童の姿を紹介し、自分の振り返りにつなげる。 ○「今までは」「今日学習して」「これからは」等の視点を示し、自分自身を振り返ることができるようにする。 ○詩や言葉（備考欄「通潤魂」を参照）を紹介し、価値の自覚を高める。</p>
----	-----	---	---

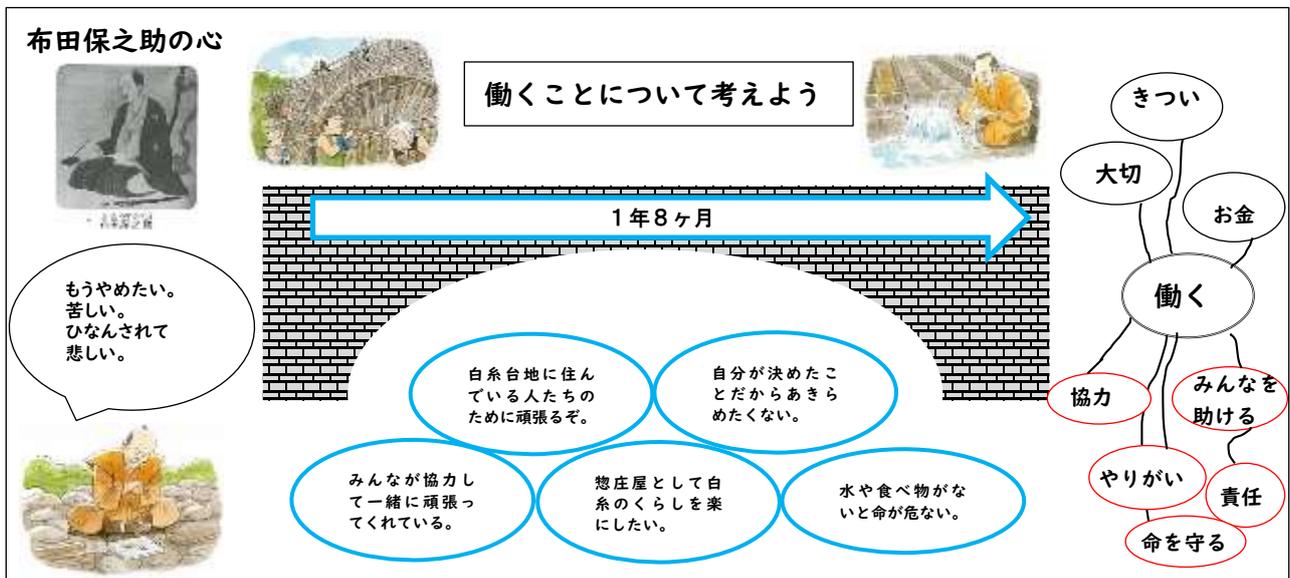
【評価の視点1】 布田保之助が1年8ヶ月働き続けた理由を多面的・多角的に考えている。

(方法：発言・ワークシート)

【評価の視点2】 登場人物の生き方を自分自身と重ね合わせながら、働くことの大切さについて考えている。

(方法：発言・ワークシート)

【板書計画】



【ICT活用計画】

<p>例：教師による教材提示の計画，ICTを活用した発表，まとめ等による考えの共有の計画等</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・導入で通潤橋の写真を提示し，社会科等での学習したことを想起できるようにする。アンケート結果を提示し，自分事として捉えることができるようにする。 ・教材提示において，電子黒板を使ってデジタル教科書や，DVD版「くまもとの心」を活用する。 ・終末で，やなせたかさんの詩「ひとつぶの水滴」のイメージの絵を電子黒板で提示しながら紹介する。

【備考】

「通潤魂」には，創造性，協調性，不屈の精神，勤労の喜び，郷土を愛する心という意味や思いが込められ，今も山都町では布田保之助さんの思いや生き方が大切にされている。

布田保之助の心

4年 組 () 番 ()

どんな思いがあったから、保之助は1年8か月も、働き続けることができたのだろう。



自分の考え (理由) 友達の考えは赤でメモ

【質問しよう】

- ・ どうして〇〇と思ったのですか？ くわしく教えて
- ・ 理由は何ですか？
- ・ 同じような経験がありますか？ その時どんな気持ち？
- ・ もし自分だったらどうしますか？ わけは？



同じ意見 (青) ・ 気が付かなかった意見 (赤)
